

評定について

1 定期考査は、成績（評定）を出すための大事な試験

学年の成績は、前期と後期の評定の平均です。前期の評定は、中間考査と期末考査の得点と平常点をもとに算出しており、各定期考査は**学年成績の20%**を占めています。

2 どの科目の評定も同じ価値があります

学年末の成績は、各科目ごとに**5, 4, 3, 2, 1**の5段階で評価されます。

1は、単位を修得できません。単位を規定以上修得しないと留年になります。

例 1学年 国語総合、現代社会、数学Ⅰ、数学Ⅱ、数学A……と全部で14科目に評定がつきます。 → 数学は、その中で3科目に成績がつきます。

3年で開設されない芸術(除・文系選択)・家庭・情報などは、1・2年の成績がすべてです。

3 大学入試等で提出が求められる「調査書」はつぎのようになっています。

2. 各教科・科目の学習の記録													
教科・科目		評定			修得の 単位数 計	教科・科目		評定			修得の 単位数 計		
		第1学年	第2学年	第3学年				第1学年	第2学年	第3学年			
教科	科目	第1学年	第2学年	第3学年	計	教科	科目	第1学年	第2学年	第3学年	計		
数 学	数 学 Ⅰ	4			3	外 国 語	コミュニケーション英語Ⅰ	4			3		
	数 学 Ⅱ	4	5		5		コミュニケーション英語Ⅱ		5		3		
	数 学 Ⅲ		5	5	5		コミュニケーション英語Ⅲ			5	4		
	数 学 A	5	4		2		英語表現Ⅰ	4			2		
	数 学 B		4	5	4		英語表現Ⅱ		4	5	4		
3. 評 定 平 均 値	各教科の評定平均値	国語	地理歴史	公民	数学	理科	保健体育	芸術	外国語	家庭	情報	全体の評定平均値	
	平均値	5.0	4.5	5.0	4.6	4.6	4.0	4.0	4.5	5.0	4.0	4.6	
4. 学習成績概評		成績段階別人数											
A 段階		A	107人	B	133人	C	72人	D	1人	E	0人	合計	(人) 313人

各教科の評定平均値は、教科内の全ての科目の評定の平均(小数第二位四捨五入)

例 数学の評定平均値 $\frac{4+4+5+5+5+5+4+4+5+5}{9} = 4.555 \rightarrow 4.6$

全体の評定平均値は、全ての科目の評定の平均(小数第二位四捨五入)

学習成績概評 評定平均値 5.0~4.3がA, 4.2~3.5がB, 3.4~2.7がC

4 大学入試では、評定平均値がものをいう。

AO入試や推薦入試では、例えば、A段階とか4.0以上という基準があります。

国公立大学では、鹿児島大学農学部や教育学部等ほとんどがA段階。本校の規則では、国公立大推薦4.3以上、私立大推薦4.0以上(大学が指定しない場合)となっています。

二次試験で調査書と書いてある場合は、この評定平均値を点数化します。

調査書100点は、評定平均値を20倍して算出します→**1.0が20点になるのです。**

**評定平均値を0.1上げるには、全科目数が40あるので、
評定を4科目1ランク上げる必要があります。**

今度の前期中間考査、しっかり取り組みましょう。

鹿中央高に入学して早2か月。学校での生活にも大分慣れてきたことと思う。高校生活はどうか？君たちの多くが部活動に入部しているが、総体も始まり今勉強と部活の両立に一生懸命なのでは。きついことも多いと思うが、頑張してほしい。応援している。

そういえば最近、校長先生はじめ多くの先生方から「1年生はあいさつができるようになった。」とお褒めの言葉を頂くようになった。あいさつはいつでも気持ちがいいもの。いいことはこれからも継続してほしい。

最近残念に思ったこと

4月当初の学校研修で「イメージすること」の話をした。持ち時間が終了しかけていてバタバタと話したのだが、要は社会生活の中で「自分の行動で、周りの人が喜ぶこと／嫌がることをイメージできる」人になってほしいということであった。しかし残念ながら、どうも「人が嫌がる姿をイメージできない」人がいるらしい。このごろ1学年の周辺では、前回の学年朝礼でも話した「自転車の鍵」のことがあったり、その他にも残念な事例が起こっている。「被害に遭った人のことを考えられないのだろうか。」と思う。とても残念でならない。

宅習の習慣化

先日宅習時間調査が行われたが、家での学習はちゃんとできていますか。君たちは、ハードな学校生活を送っているのに、翌日のためにも一定時間の睡眠は必要だ。また帰宅する時間も、部活生は午後8時前後という人も多だろう。そうすると、特に部活をしている人は平日の宅習時間が限られてくる。その限られた時間を大切にして、是非毎日の宅習の習慣化を図ってほしい。まだ習慣になっていない人、チャンスは今ですよ。自分が生徒を見てきた経験から、高校1年の夏以降宅習の習慣化はかなり厳しいと考えてほしい。高校の学習を甘く考えて最後まで宅習の習慣がつかず、涙を流した人たちがたくさん見てきた。もう一回繰り返す。チャンスは今です。

文理選択について

先月の進路便りに進路のことについて書いた。「まだ難しいことかもしれないが、10年後の君たちの姿をイメージし、その姿から遡ってこれからの君たちの進路を考えていこう。」という趣旨であった。早速この秋には、高校2年次に文系クラスに進むか理系クラスに進むかの「文理選択」という進路選択がやって来る。まだ先のことだから後回しでいいと思う人もいるかもしれないが、重要なことなので今からじっくり考えて後悔のない選択をしてほしい。

ただ、「文理選択」のことはわかっているけどどんな風に考えたらいいのか戸惑っている人たちもいるだろう。そういう人たちは、担任の先生でもいいし教科担任の先生でもいいので是非相談してほしい。選択にあたっての何だかのヒントを与えて下さると思う。また、家族でも話をしてほしい。君たちの親や兄弟の方々にも、過去「文理選択」を経験された方もいらっしゃるはず。「先輩」としてアドバイスを求めてみよう。1学年でも、6月の学年朝礼で「文理選択」についてのお話を伺うことになっている。また、先日配布された「進路の手引き」24ページにも「文理選択」についての記述がある。よく読んでみて。以下、「進路の手引き」24ページの抜粋です。

< 文 系 >	< 理 系 >
資料や情報を収集し、自分の言葉で表現する力が要求される。国内外の文献を読みこなし国語力・語学力だけでなく、専門分野の知識を深め、社会の動きに敏感になることが要求される。また、統計等を用いる経済学・心理学等は勿論のこと、他の学問も論理的に考えていくため、数学的な思考も重要になってくる。	問題に対して、仮説を立て検証する力が要求される。自然科学の事象を理解するための理学的な知識、実験データを正確に把握・分析するための数学力が求められる。また、論文やレポートを書くための表現力、文献を読みこなしための国語力・語学力も求められる。
<div style="border: 1px solid black; border-radius: 15px; padding: 10px;"> 主に法学、経済学、文学、哲学、心理学、歴史学、語学、芸術、体育、教員養成（文系）等の系統の学部・学科に進学したい生徒を対象としたコース。国語・英語・地歴公民に重点が置かれる。 </div>	<div style="border: 1px solid black; border-radius: 15px; padding: 10px;"> 主に理学、工学、農学、水産、獣医、医学、歯学、薬学、医療系、食物栄養、教員養成（理系）等の学部・学科に進学したい生徒を対象としたコース。数学・理科・英語に重点が置かれる。 </div>
※ 但し、家政学、福祉関係は両方のコースが考えられる。	

先を見通す力を鍛える！ 計画力を強化する！

例年と比べて短くはありましたが、GWも終わりました。終わってしまいました。課題をしっかりとこなし、部活動にも存分に取り組んで、充実した時間を送ることができたでしょうか？

GW前（GW中？）に開催された玉龍高校との「第26回スポーツ交歓会」。それぞれの競技での選手たちの頑張りはもちろん、応援団の統制のとれた演舞、競技の応援を盛り上げるダンス部、一生懸命応援する君たちの姿を見ながら、本当に高校生らしい澆



刺とした姿に鳥肌が立つような感動をおぼえ、中堅学年としての君たちに対する期待も膨らんで迎えたGW明けの授業日初日。残念ながら、目に入ってくるのはつい空席の目立つ教室と、数日前とはまったく異なる疲れ切った姿でした。

確かに、休み明けは気分もブルーになるのも分かりますが、もう少し休日をうまく過ごせないものでしょうか？

2年後、君たちは大学に進学し、4年後ないしは6年後を見通しながら、受講講座を自分で決定しながら大学生活を組み立てていきます。私自身を振り返ってみても、今、一番役に立っていると痛感するのは、限られた時間をいかに使うかといった高校生活で身につけた、「計画性」だと思っています。

君たちは何かをする前に、「計画」を立てるタイプか？

計画をしっかりと練って、それ通りに動きますという人もいれば、計画を立てないでとっとと動いてみるという人もいます。作業の取り組み方としては、どちらがいいとは一概には言えません。考える前に行動した方が有効な場合もあります。色々と考えてしまうと、悪い結果しか予想できずに行動に移せなくなってしまうこともあるし、細かい計画を立てない気ままな旅行の方が、思わぬ発見や予期せぬ出来事が起きたりして楽しめることもあります。

ただ、限られた時間の中で目的を達成しようとするときは、計画を立てて慎重に考えてから行動した方が良いケースが多いのも事実です。計画を練ることで、物事への達成手順が整理され、事前にリスクを予測したり、予定外のことに上手く対処することができます。将来、社会に出た後の計画性のなさに起因する失敗は、周囲にも多大な迷惑をかけることにもなります。ぜひ高校生活の早い段階で計画力（先を見通して行動する力）を身につけて欲しいと思います。



計画力とは？ … 先を考える力。予測する力。物事を達成するためのプロセスを明確にし、起こり得るリスクに対し事前に備えるための力。

物事に取り組む際のやり方をイメージする！ … 作業に入ったら、何がまず発生するのか。作業のボリュームはどの程度か。こういった手順で取り組むのが効率的なのか。



進度予定表やシラバスが配布されているのはなぜなのか考えてください。不測の事態に備えて、早め早めに取り組んでみてください。課題をすべてこなしスッキリした気分で好きなことをすれば、何倍も充実度が増すはず。高校生活も2年目。学校行事や学習のサイクルは把握しているはず。こなすべき課題に要する時間を計算し、どの時間を利用して取り組むのか？ C-Passも上手く活用してください。

大学入試という大きな目標に近づけば近づくほど、残された時間は少なくなっていきます。2年後、君たちが初めて迎える大学受験。実は、真剣に向かい合えば向かい合うほど、理解の足りない部分が次から次に見つかる、時間がいくらあっても足りないというのが現実です。そうした中で少しでも余裕を持って落ち着いた気持ちの中で勝負の日を迎えるのか、バタバタした慌ただしい気持ちで迎えるのか。計画的な学習を継続していくことがマイナスになることは絶対にありません。頑張らなければならないのは今です。

受験に臨むにあたって

5月を担当する、4組担任・物理担当の加藤です。

今年からこの学年を担当することになり、授業も4組しか行かないので「誰だ??」と思う人も多いかもしれませんが、せっかくこの5月(部活を引退して受験に向けて再スタートを切る人も増えてくる時期)を担当することになったので、私が思う「受験に臨むにあたって必要な心構え」を述べたいと思います。

1. やりたいことは定まっているか

受験は長丁場の勝負です。中間考査対策のような短期的な勉強なら勢いだけで乗り切れるかもしれませんが、何ヶ月にもわたって高いモチベーションを維持するためには、自分の心の内側からにじみ出てくる動機付けが必要不可欠です。

1年後、自分がそこで何をしているのか(何を学んでいるのか、どういう生活を送っているのか)をもう一度想像してみてください。もしうまく想像できなかつたり、想像できても勉強のモチベーションにつながる感じがしなかつたりするのであれば、それは志望の深め方が足りないということです。(進むべき道を間違っているというわけではない。)

インターネットで調べてみる、実際にその大学等に行ってみる、先輩や先生方に聞いてみる、など今すぐにでもやれることはたくさんあります。

2. 目標と現状とのギャップを理解しているか

これまで受けてきた模試の結果(自分の現状の力)は頭に入っていますか?

志望校の配点(センター試験+二次試験)は頭に入っていますか?

あとどの教科が何点伸びれば目標に届くか(目標と現状とのギャップ)は言えますか?

孫子の兵法に「彼を知り己を知れば、百戦して危うからず」とあります。受験は、何も考えずにただ与えられたものだけを努力しても戦えません。高校入試よりもはるかに高度な戦略的思考が必要です。目標と現状とのギャップをいかに埋めていくかを考えて、そのために(宿題や予習復習を含めて)受験勉強に取り組んでほしいと思います。その確認のためにC-passを使うのはとても有効です。

3. 授業で勝負することができているか

これからの受験勉強のうち、もっとも多くの時間をかけるのは「授業」です。たとえほかの全てを頑張ったとしても、授業の集中力が低ければトータルの学習量は足りなくなります。受験に臨むにあたって最優先で考えなければならないのは「いかに授業の質を高めるか」ということです。

細かいことまで挙げるとキリがありませんが、限られた紙面の中で、私が特に必要な心構えだと思っていることを3つ書きました。当たり前のように思えることだったかもしれませんが、これを自信をもって「できている!」と言える人は意外と少ないのではないかと思います。だからこそ、受験に向けて再スタートを切るこの時期にもう一度このことを徹底して、最後まで自分を信じて頑張り抜いてください。微力ながら全力で応援していきます。